



令和7(2025)年12月12日
杉並区総務部広報課

～杉並区産 MaaS「ちかくも」に新機能を追加～

全国自治体初！ シェアサイクル3社の予約連携が可能に

このたび、杉並区産 MaaS※「ちかくも」の電子地図「おでかけマップ」に、シェアサイクル「LUUP（ループ）」のポート情報の確認ができる機能を12月18日に追加します。これにより、HELLO CYCLING（ハローサイクリング）、docomo bike share（ドコモ・バイクシェア）を含めた3社のポート情報の確認・予約連携が1つのシステムでできるようになり、自治体が運営する MaaS としては全国で初めての取組です。

杉並区では、事故のない交通社会やゼロカーボンシティの実現等を見据え、誰もが気軽に移動できる利便性の高い地域交通環境の形成を目指しており、令和7年度は、国土交通省の日本版 MaaS 推進・支援事業（観光促進型）に採択され、この補助金を活用して「ちかくも」の機能開発に取り組んでいました。

杉並区産 MaaS「ちかくも」は、さまざまな移動手段の検索・予約などを1つのサービスとしてまとめて提供するだけでなく、おでかけのきっかけとなる情報もお届けし、おでかけをもっと楽しく・もっと便利にしていけることを目標にしています。「杉並区産」には、杉並区から生まれ、近隣自治体等にも波及効果をもたらしていきたいという願いを、「ちかくも」には、小さい移動と大きい移動をつなげ、移動の選択肢をひろげることによって、近くへの移動も遠くへの移動も便利にしたいという思いを込めています。

今回、LUUP のポート情報の確認ができる機能を追加することで、すでに確認可能な、HELLO CYCLING、docomo bike share と合わせ、区内シェアサイクルポートのほとんどをカバーすることになり、環境に優しく健康増進にも効果的な自転車をこれまで以上に活用しやすくなります。また、利用者は目的地までの移動経路を検討する際に、バス停やタクシー乗り場、区内約800か所のシェアサイクルのポート位置や空き状況の把握ができ、徒歩や自転車、公共交通と組み合わせた移動プランを立てることができます。

「ちかくも」の利用者は、令和7年11月末時点で約2,000人。より多くの方にご利用いただけるよう、今後も商店街や杉並区健康アプリ「なみチャレ」との連携などを検討しながら、移動利便性の向上だけでなく、移動と移動の先にある活動が組み合わさることによる新たな価値の創出に取り組んでいきます。

【「ちかくも」の利用方法】

杉並区 LINE（ライン）公式アカウントのメニュー「交通」、または「杉並区産 MaaS『ちかくも』」のホームページからアクセスすることができます。利用には、杉並区 LINE 公式アカウントの友だち追加が必要です。

※MaaS…Mobility as a Service の略。ICT を活用してあらゆる交通サービスをスムーズにつなぐ新たな「移動」の概念。また、さまざまな交通サービスを一つに統合させた新たなモビリティサービスのこと。

【報道機関 問い合わせ先】

交通企画担当課：03-3312-2111 内線3501

広報課報道係：03-3312-2111 内線1574